

おぎが

議会だより

第112号 2020.3.31



中学生模擬議会 町長の答弁を真剣に聴く生徒たち

contents

値中3年生 模擬議会 2 ~

令和2年度予算決まる 6 ~

主な新規事業と継続事業 12 ~

町長！ ひとり親家族 積極受け入れを！ 20 ~

町長！ 特定地域づくり事業支援法の活用を！ . . 22 ~

町長！ 円滑な牛市場統合に尽力を！ 24 ~

教育長！ どうして町が助成するの？ 26 ~

値中 3 年生 模擬議会

～小値賀未来学の集大成～



若者としてチャレンジ！ 町に言うチャンスだ！

小値賀中学校 3 年生による「模擬議会」が 1 月に開催されました。

正式な議会と同じように、役場執行部が着席する中、生徒一人ひとりが町長に対し熱い思いを質問し、町長も真剣に答弁しました。

生徒のいろいろな思いをどうやって政策に反映させるか、単なるイベントになってしまわないよう、議会のチカラが試されます。



緊張感が伝わってきます



前もって議員と意見交換会を行なって 本番に臨みました

大久保綾美さん・山元佑太郎くん



チューバー※を呼ぶことは考えませんか。

〔答〕町では、昨年の模擬議会での皆さんの先輩からの提案を受け、昨年7月から情報発信の職員を配置しています。

学校行事や町のイベントなど当町の情報や魅力を一いち早くホームページや YouTube・Facebook などで発信しています。

ユーチューバーにお願いして来てもらうのではなく、当町に興味がわく、行ってみたいと思ってもらえるような情報発信をやっていくべきだと考えています。

多くの人が当町を訪れ、その方々から情報発信してもらうことが必要だと考えますので、今後情報発信に力を入れ、魅力的な町になるよう取り組んでいきたいと考えています。

また、魚や野菜、特にブランド魚の「値賀咲」、みずみずしいトマト、メロンなどは小値賀の誇れる特産品です。

このような魅力を島外に発信することで、島外からの観光客が増えるのではないかと考えます。

発信するために、ユー

ユーチューバーを呼んで小値賀の魅力発信を

※ユーチューバー

主に動画共有サービス YouTube 上で、独自に制作した動画を継続的に公開し、その動画についている広告の宣伝料から収入を得ている人のこと。

川口真歩さん・森岡聖准くん



〔答〕雑誌やテレビなどの取材は、お願いして来てもらっているのではなく、こちらが発信した情報や観光客の口コミなどがマスコミの目にとまり実現したものです。

ドラマや映画の撮影には、人材とお金も含めた膨大な受け入れ態勢が必要で

実施の可能性については、いろいろな方々の意見を聞きながら探していきたいと考えています。

土産品を買ってもらうことで当町への経済効果が高まることは十分承知しています。

また、小値賀の特産物を使ったお土産を作る企業、売る企業を立ち上げてはどうでしょうか。

小値賀をより多くの人に知ってもらい、小値賀を訪問した人にお土産を買ってもらうことで、小値賀を豊かにできるので、小値賀を豊かにできるのではないかと思います。

土産品の開発や販売を行うような人が出てきてくれることを期待したいと思っています。

小値賀の魅力発信と土産品の販売を

小値賀町に戻ってくる人へもっと支援を

● 図 少子高齢化により労働力不足・人材不足などの問題があり、若者の人口を増やして労働力を高めることが必要になっていきます。

小値賀から外に出た人が、島に帰ってくるような工夫はどのようにされていますか。

例えば小値賀町では高齢者が増加している中で、リハビリができる施設とスポーツショップを作るのも良いと考えます。

体調管理ができ、スポーツ用品を島外で買わずにも済み、とても便利になると思います。



北野悠矢くん・牧尾ありすさん

● 答 当町に帰ってくる人への施策としては、農林水産業の後継者育成の研修制度や支援、創業や事業拡大を希望する人に対する支援などがあります。

実際、このような研修事業などを活用し、農業では平成25年から5名、漁業でも平成23年から3名の当町出身者が就業し、現在も1人が研修中です。

新たにお店の創業を希望する場合、必要な設備やお店の改修などに対する支援制度があり、当町に戻り、この制度を活用して創業している事例もあります。

これからも、自由な発想で当町をより良くするために創業を考える人への支援を進めていきます。

また、このような事業があることを町のホームページやSNS※などでしっかりとPRしていく必要があると考えています。

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略)

インターネット上で人と人とのつながりや交流を楽しむコミュニティ型のサービス。

代表的なものとして、Facebook、Instagram、YouTube、TikTok、LINE、Twitter などがあります。

SNSを使って医師などの人材不足の解消を

● 図 小値賀診療所は今、医師、保健師、看護師の人数が少なく、的確な指示を出すことができなかったり、判断が難しくなったりしているという話を聞きました。

そこで、島外にSNSなどを使って小値賀町の情報、特に医師や保健師の人材不足を知ってもらい、人材を増やす機会にしたら良いのではないかと考えます。



近藤花音さん・松永弘大くん

● 答 小値賀診療所では現在、常勤の医師1名ですが、医療の充実や町民の皆さんが安心して暮らせるよう、2名体制が不可欠であると考えています。

今年4月には2名体制ができるよう調整を進めており、一応の目的が立つ見込みです。

県内各地域でも医師や保健師、看護師の人材不足は深刻で、人材確保が難しいのも事実です。

提案のSNSなどを活用した島外への情報発信はとても良い考えだと思います。

今以上に効果的な情報発信に努め、人材を確保していきたいと考えています。





島の魅力発信で人口増と自主財源の確保を

島小値賀町の人口は年々減少し、このままでは島の美しさ、良さを他の人に伝えることが難しくなると思います。
 島おこしにつながるような有名人にお願いして、自然や名物、世界遺産のことなど小値賀町の魅力をFacebook・Instagram・TikTok・Twitter、小値賀町公式LINEアカウントなどで紹介していただければ、小値賀町の今を広く伝えることができます。
 その結果、交流人口や関係人口が増え、町の自主財源の確保につながるのではないのでしょうか。

答 いろいろな施策に取り組んでいますが、人口減少に歯止めがかかってないのが現状です。
 現在、学校行事やイベントなどの情報をホームページ＆Facebook・YouTubeなど発信しています。

地域の魅力づくりを高め、情報発信による交流人口と関係人口の増加には今後とも力を入れていきたいと考えています。
 また、昨年10月からインターネットの人気サイトを利用して、ふるさと納税の充実を図っています。
 その結果、多くの方からの寄附をいただいたことから、情報発信による交流人口と関係人口の増加は、自主財源の確保に大きくかかわっていることを再確認しました。
 これからもさらに努力していきたいと思っています。

質問をしっかりと発言できたので良かったです。町長さんからの回答をいたして小値賀のことを改めて考える時間となりました。とても良い機会となりました。
 この機会に小値賀をよくするために考えることだけでなく、いろいろな観点からみて、本当にそれが実現できるのか考えることも大切だと学びました。実際に直接質問するのは2回目ですが、高卒3年生でもこのような活動ができるということなので、今回学習したことを次に活かしていきたいと思っています。

島の生活に生かされるように頑張ります。また、議員の方には議会などで質問をすぐに答えられるので僕もすぐに質問を答えられるように授業などでたくさん質問します。僕が小値賀町をこれからより明るくするためにはなければならぬことは、町民の方々に元気な暮らしをするように自分から明るい挨拶をしていきます。また、観光客の方や最後まで楽しく旅行するために道に迷っている方がいたら率先して道案内をしたいと思います。これから小値賀町のこととたくさん調べて知っていきます。

町長からいろいろな回答をいただけたのでこれから、今日学んだことを日々の生活につなげて小値賀の将来のために頑張りたいと思います。また、毎年減少している小値賀の人口や自主財源について改めて考えてみて人口を増やすために自主財源を増やすために小値賀のことをもっと知ってもらえるよう自分ができることを自主的に行っていきたいと思います。

この活動を通じて、意義感を作っていくことは、こんなに大変なことだと分かりました。小値賀町、とより良くなるようにいろんな人にも良さを教えたいと思います。
 本当にありがとうございました。



これから小値賀の観光客が増えていくように小値賀の魅力伝えていきたいと思いました。そして、訪れた観光客の方々が喜んでくれるように小値賀の自然や歴史などの良さを守り、魅力あふれる島にしていきたいと思いました。

将来は小値賀に帰ってきて小値賀で仕事をしたいと思っています。また、小値賀の人口の増えかのため小値賀の特産物や人の良さなどを発信していきたいです。

どんな活動を行っているかを教えてくださったのでとても考えやすくなりました。また、僕達の質問にも詳しく親切に教えてくださったので考えを深めることができました。
 今回はお忙しい中僕たちのために時間を割ってくださりありがとうございました。

この経験を生かして、小値賀をさらにPRしていくため、私も清掃活動などに取り組み、よりよい小値賀町にしていきたいと思っています。
 今回は、お忙しい中、貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

終えることができました。自分がこれからできることは、小値賀の行事に参加して盛り上げていくこと。大人になって小値賀を出ても、また小値賀に戻って来て、働いて支えていこうと思います。一時期、模擬議会はなくなるかと思われていたが、議員のみなさんのおかげで、参加することができました。
 本当にありがとうございました。



この機会に深く考えることができました。また、町長さんの答弁を聞くなかで、自分が知らなかった現状や取り組みを知ることができました。この場で学んだ小値賀町の課題、そのための政策を頭において生活していこうと思います。模擬議会という貴重な場を設けていただき本当にありがとうございました。

後日、生徒からのお礼の手紙が議会に届きました

定例3月会議



一般質問だけでなく予算審査も本会議場で行いました

課題解決 町民と共に

人口減少 少子高齢化 担い手不足…

新年度予算を可決

令和2年定例3月会議は、3月9日から11日までの3日間の日程で開催されました。

今回の定例会議のメインテーマは令和2年度の小値賀町の予算です。

特に定住促進、子どもの教育や子育て支援、医療の充実、起業や事業拡大に対する支援、後継者対策、産業振興などに重点を置いた予算編成になっているとの町長の施政方針が示され、その後、活発な質疑が行われました。

また、条例の制定と改正が2件ずつ、指定管理者の指定についてが2件のほか、令和元年度の一

般会計と特別会計の補正予算についても審査・審議を行いました。

慎重な審議の結果、すべての議案に全員が賛成し、可決成立しています。



一般質問は4名が

一般質問では、近藤隆二郎議員が「地域が支え合う社会の実現について」と「ひとり親家族の移住支援について」、松屋治郎議員は「本町の地方創生（人口減少対策）について」、宮崎良保議員は「宇久小値賀家畜市場の統合について」それぞれ町長に質問しています。

また、今田光弘議員は教育長に対し「北松西高生の修学（研修）旅行費用に対する町の助成について」質問しました（20ページ）。

一般会計予算

令和2年度

予算総額 34 億 9600 万円

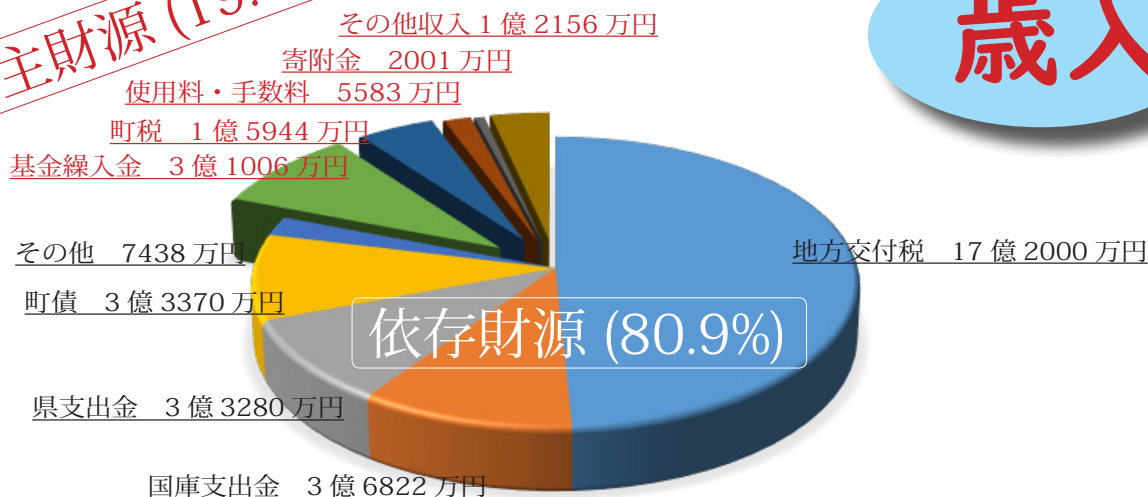
(歳入・歳出ともに)

歳出

令和2年度に使われる町の大切なお金の内訳

農林水産業費	6 億 2382 万円	3 億 1186 万円減	農林水産業の振興や松くい虫防除などに要する費用
民生費	5 億 5410 万円	1 億 96 万円減	社会福祉、児童福祉、生活保護などに要する費用
総務費	5 億 2223 万円	1 億 2598 万円増	役場全体の維持管理、徴税、選挙などに要する費用
教育費	4 億 1721 万円	2 億 1345 万円増	小中学校、公民館などの管理や離島留学に要する費用
衛生費	3 億 9366 万円	9829 万円増	保健衛生、環境衛生、健康、清掃などに要する費用
公債費	3 億 8149 万円	1163 万円増	町債として町が借りたお金を返済する元金と利子
土木費	2 億 4793 万円	7505 万円増	道路や町営住宅の維持管理などに要する費用
商工費	1 億 6195 万円	3523 万円増	商工業の振興や観光に関する費用
消防費	1 億 969 万円	1158 万円増	消防団や消防署などに要する費用
議会費	5208 万円	9 万円減	議会運営や議員に係る費用
その他	3184 万円	60 万円増	諸支出金、予備費など
合 計	34 億 9600 万円	1 億 6000 万円増	(前年度当初予算額との比較増・減)

自主財源 (19.1%)



歳入

依存財源とは、国や県から定められた額を交付・割り当てられたお金や、金融機関から借りてくるお金です。

自主財源とは、町が直接集めるお金です。

一般会計

町民一人当たりの予算

約 148 万円

予算審査

令和２年度予算の審査は、新型コロナウイルスへの対応もあり、予算特別委員会を設けず、３月１０日、１１日の２日間にわたり本会議場で行いました。

主な予算の使いみちは以下のとおりです。

この予算には今田光弘議員が賛成討論をしています。

総務費

新築による定住促進住宅の整備
自主財源確保のためのふるさと応援寄附金の関係経費
町制施行８０周年記念として町民と作り上げるイベントの実施

民生費

福祉のまちづくり実現のための高齢者や障害者に対する各種支援
子育て世代が安心して子育てできる環境整備や支援
生活保護に至る前段階の自立支援施策の強化

農林水産業費

松くい虫による被害松の伐採
基幹産業である農林漁業の振興の推進

商工費

地方創生交付金を活用した観光客受け入れのための関係予算
雇用機会拡充事業の拡大

土木費

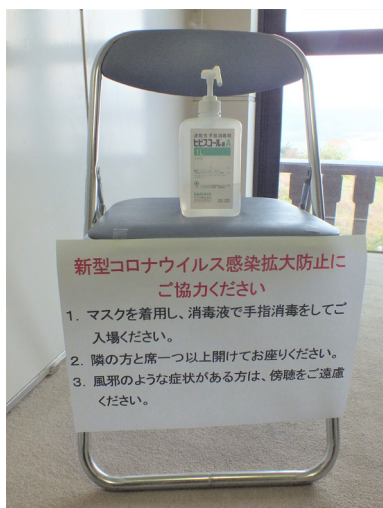
旧野首教会周辺の景観向上を図るための町道野崎本線無電柱化工事
町道唐見崎線の災害防除工事

消防費

老朽化した防火水槽の改修工事
備蓄品の充実
国土強靱化地域計画の策定

教育費

学校ＩＣＴ教育環境の整備
教員住宅の建設
ふるさと留学受け入れのための寮の建設整備



新型コロナウイルス対応で 会議期間を短縮し マスク着用と手指消毒をお願いしました

査 審 算 予

主なやりとり

総務課関連

● 閩町長交際費は情報公開すべきでは。

● 公開する方向で検討する。

閩町制施行80周年記念イベントはどのようなものか。

● 生徒が中心になってアイデアを出し、そのアイデアを実現するようなイベントを考えている。

生徒に負担がかからないように、実行委員会形式で実施していきたいと考えている。



お試し住宅 新たに10戸

単身向けと家族向け 建設場所は未定

● 閩お試し居住施設は、空き家の改修ではなく、なぜ新築となったのか。

● 活用できる空き家に限りがあって、入居希望者（移住希望者）も多いことから、10軒を新築予定。場所はまだ未定。入居は3年間が限度。単身向けと家族向けを5軒ずつ予定している。

● 閩備蓄品購入費が大幅にアップしているのは。

● 非常食以外に避難所における段ボールベッド、仕切り、非常用給水袋、簡易トイレ、生理用品などの購入を考えている。災害対策としてのマスクは入っていない。

福祉事務所関連

● 閩孤独死が本町でも多発している。独居高齢者見守り生体センサーのリース事業は、効果的なのか。

● 閩海岸漂着物等地域対策推進事業では、国が市町村に丸投げしている状況であり、離島という状況ではもともと国が負担実施すべきではないか。

● 5台を貸し出しているが、使い勝手が悪くメーカー側で改善ができていないので、今後は他の方法も検討していく。

● 他の離島とも相談して声をあげていきたい。

建設課関連

● 閩マイバグ配布事業は効果があるのか。すでに持っている町民が多いのでは。

● レジ袋が有料になることの啓発効果を考えて配布する。

● 閩町道除草作業委託とは。

● 町道は除草作業の人材不足により、建設業者に委託して実施してもらうことにした。県道は4月から県が直接委託することになる。



2月末現在9世帯18人が住む納島

主なやりとり

建設課関連

葬斎場 老朽化で改修工事

通夜ができる環境整備の検討も

問葬斎場改修工事設計監理業務の具体的な内容は。

答現在の葬斎場が29年経過して老朽化しており、外構のブロック塀などの改修が目的。

近年はお通夜のニーズもあると聞いており、それも踏まえて検討していきたい。

問大型生ごみ処理機設置の具体的な内容は。

答平成28年に新小浜町に1基、西目に2基を設置している。120世帯ほどの分を処理し、堆肥になることを期待しているが、西目のものは土壌菌が少なかったのかいまいつ。



町民から快適に通夜ができるよう要望が

問前方漁港機能増進工事の内容は。刺し網などとの調整は。

答筒井浦の岸壁の車止め未設置の部分をすべて設置。延長442m。

新年度は5基を予定しており、場所は未定だが農家地区を考えている。

設置まで入札後数か月かかるので、その間に地区と調整し、早く完成させたい。

産業振興課関連

問ウエディングプラン造成事業は誰が商品化するか。費用対効果は。

答外部のウエディング事業者中心だが、島内事業者の着地型旅行商品としても醸成していきたい。

昨年実施したもので、島内でおおよそ100万円が消費され、全体では3000万円相当分のPR効果があり、費用対効果は問題ないと考えている。

問観光ダイビング事業の内容と町民への周知は。

答4月からプレオープンという形での実施を想定しており、これから周知を図る。

基本的には民間事業のため、料金設定やショップの場所など、従事する地域おこし協力隊員が主体的な動きをすることになる。

あわび館の利活用

子ども視点のアイデアや意見も

問平成8年に整備したあわび館も老朽化しているが、指定管理業務の評価と課題は。

答水産加工場との切り分けや二階展示スペースの利用も考えていきたいが、手が回らないのが現状だ。

問景観的にも問題がある。子どもたちにも目立つ建物であり、小中高生を巻き込んで皆で考えていつてはどうか。

答大人だけでなく、子ども視点のアイデアや意見をもらうことも考えていきたい。

問雇用機会拡充事業の雇用見込みは大丈夫か。

答事業拡大が一者、創業が二者であり、商工会とも連携してその事業プランをチェックしている。雇用条件はクリアできると判断している。



役場職員も働き方改革を

問林業にかかる職員手当の予算に時間外手当が初めから計上されているのは、働き方改革として問題ではないか。

答薬剤散布事業などは早朝に実施したり、危険性もあることから、役場職員が行うことを想定していた。

今後は、外注なども検討していきたい。

主なやりとり

教育委員会関連

問 更新補助金を予定している玉石鼻の鳥居は宗教的シンボルで、問題はないのか。

答 斑地区より要望があった。聞き取りの結果、宗教行事は行っていないため、問題ないと判断した。

問 あの場合に新しい鳥居はそぐわないのではないのか。古いからこそ良いのでは。

答 老朽化が進み、危険であるためやむを得ない。



問 北松西高校魅力化推進事業では、海外への修学旅行費用を町が補助することが想定されている。

町 が補助する理由は。

答 子どもは小値賀の宝であり、人財づくりであることから補助する。

問 学校サーバーのリプレイス業務委託があるが、クラウド※化と費用の比較はしたのか。

答 中学校にサーバーがあり、設置後7年が経っている。クラウド化はセキュリティの問題もあるが、今後検討してみたい。



※クラウド

「クラウドコンピューティング」とも呼ばれる。

インターネットを介して提供されるさまざまなサービスをさす。メールや動画、写真など、自分のハードディスクやパソコンに保管することが従来的とすると、それらをネットワーク上に保管し、いつでも、どこかのパソコンからでも利用できるようにしたサービスのことを言います。

ふるさと留学 寮を整備 「しま親」以外の受け皿に

問 若者向け短期滞在施設整備事業（ふるさと留学生の寮）の具体的な場所と人数を。

答 候補地はまだ未定だが、12名受け入れられる寮を予定している。

問 コンセプトはふるさと留学協議会を中心に構想しており、小値賀が第二のふるさととなるように進めていきたい。



問 世界遺産レスキュー隊の出身は。

答 野崎島を守っているという志をもつ人の集まりを想定している。

問 ユニフォームをそろえ、遊歩道の整備などをしていきたい。

答 宣伝費は使わず、まずは役場職員自ら隊員とし



荒廃が進んでいる野崎島

て参加し、人と人とのつながりから持続可能なものへ広げていきたいと考えている。

問 世界遺産マイスター資格検定は、どのような内容か。

答 3日間の座学と野崎島での2日間のフィールドワークの後、検定試験を行い、合格者に資格を与える。

受 講料は取るが、まずは島民を対象としたい。

大型生ごみ処理機を農家地区に 5 基
設置します



町民一人ひとりがごみの減量化を

黒島の漁船保全修理施設の上架レールの
取替を支援します



安全性の確保と機能維持のため

町内各園地の展望の支障になっている
木や危険な木を処理します



風景と樹木のバランスが難しい

野崎島自然学塾村の修繕と 一部の部
屋にエアコンを取り付けます

1107 万円

新年度の主な 新規事業

事業の効果が効率的に発揮されるか
議会は注視していきます。

防災機能を果たすため 役場庁舎の窓
ガラスを防護フィルムで強化します



断熱効果も期待できます

斑漁港の東防波堤のかさ上げ工事の設
計費用の地元負担分



今年の台風でズレが生じています

移住者受け入れのためのお試し居住施
設を建設します

1 億 1100 万円

町制施行 80 周年を祝う企画を生徒が
立案 島の若手とともに作り上げます

500 万円

「ふるさと留学生」を受け入れるため
に寮を新築する

7007 万円

海岸漂着物回収や「海ゴミなくそう & ゴミ収集カレンダー」制作費用に



1094万円

漂着ゴミにおおわれた白浜海岸

農水産物の海上輸送にかかる経費を補助します



3212万円

離島の流通の効率化とコスト改善をめざします

松くい虫対策のための農薬散布や伐採・焼却などに係る費用



1億4641万円

メリハリをつけて松を守ります

担い手公社の運営を補助します

2044万円

新年度の主な 継続事業

小値賀町民全体の福祉につながっているか 議会は注視しています。

町道唐見崎線の のり面が崩れないようにする工事の続きです



5010万円

雇用の場を増やすための取り組み
3件を支援します



2100万円

また新たな雇用が生まれます

旧野首教会付近を無電柱化し、景観を良くします

5010万円

定期航路の運賃を国と県と町で5割負担します

1300万円

地域おこし協力隊員8名の活動にかかる費用です

2787万円

特別会計予算

令和2年度 7 会計予算総額 20 億 8922 万円

◆国民健康保険事業◆

予算総額 4 億 8360 万円

【主な歳出】

国民健康保険給付費	3 億 317 万円
県への納付金	1 億 1274 万円
保険事業費	1050 万円

◆渡船事業◆

予算総額 7065 万円

【主な歳出】

はまゆう運航費	3257 万円
さいかい運航費	1290 万円
総務費	1289 万円

◆介護保険事業◆

予算総額 3 億 8657 万円

【主な歳出】

保険給付費	3 億 5006 万円
地域支援事業費	2957 万円
総務費	690 万円

◆後期高齢者医療事業◆

予算総額 4700 万円

【主な歳出】

広域連合負担金	4189 万円
総務費	509 万円

◆下水道事業◆

予算総額 1 億 4550 万円

【主な歳出】

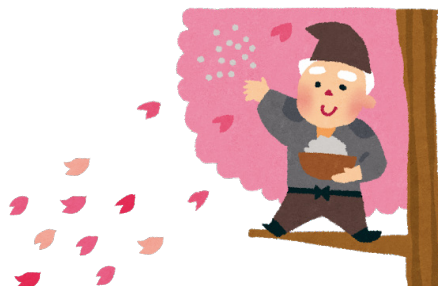
公債費償還金	8515 万円
公共下水道管理費	2431 万円
農業集落排水管理費	1205 万円

◆簡易水道事業◆

予算総額 8410 万円

【主な歳出】

公債費	2939 万円
施設整備費	1200 万円
配水管布設替工事	400 万円



◆国民健康保険診療所◆

予算総額 8 億 9000 万円

【主な歳出】

新診療所建設工事	4 億 6860 万円
医薬品衛生材料費	1 億 4716 万円
医業用機械器具費	3232 万円

補正予算

(令和元年度)

【一般会計】

補正して 36 億 9900 万円に

主なやりとり

プレミアム商品券
利用率低いのは

圃プレミアム商品券の予
算が大きく減っているの
はなぜか。

答 対象者 853 名のうち
申請したのは 342 人と
少なかったため。

圃 少なかった理由は何か。

答 分析はまだしていない
が、申請手続きが面倒
だったこともあるのかも
しれない。

圃 国は 3 月末まで利用で
きるとしているが、なぜ
当町では 2 月末までにし
たのか。

答 事務処理手続きの期間
を考えた。

今後、同じような事業
があった場合、今回の教
訓を生かしていきたい。



圃 健康診査がん検診委託
料の減額理由は。

答 特に 30 歳～50 歳代の受
診率が下がっているため
だと思われる。仕事を休
んでまで受診しようとする
人が少ないようだ。

圃 松くい虫対策の樹幹注
入費用の一部を県が負担
することになり、町の負
担が減ったため。



圃 ため池点検業務委託が
計上された理由は。

答 国の新たな基準の見直
しに伴い、町内で 11 力所
のため池の点検が今年度
内に必須となったため。

圃 児童遊具施設設置工事
の予算を全額カットした
のはなぜか。
答 国のコミュニティ事業
として採択されなかった
ため。

【特別会計】

令和元年度特別会計各事業の予算額は、年度途中までの実績を確定し、残り期間の見込みを補正して計上されています。

国民健康保険事業	1241 万円増額	5 億 2737 万円に
介護保険事業	3095 万円減額	3 億 7949 万円に
後期高齢者医療事業	73 万円減額	4485 万円に
簡易水道事業	57 万円減額	7657 万円に
下水道事業	178 万円減額	1 億 5818 万円に
渡船事業	428 万円減額	6633 万円に
国民健康保険診療所	1419 万円減額	4 億 3675 万円に

その他の審議

指定管理者決まる

応募は他になし
引き続きIT協会が

町の所有する公の施設のうち「野崎島自然学塾村」と「古民家島暮らし体験交流館（いわゆる古民家ステイの建物）」5棟は、特定非営利活動法人おぢかアイランドツーリズム協会を引き続き指定管理者に指定することを全員一致で決めました。

両施設とも指定管理者を町のホームページで公募しましたが、他に応募はなかったとのことでした。

指定の期間は、令和2年4月1日から5年間で



主なやりとり

古民家ステイ関連

問 この5年間で何か問題はなかったか。

答 稼働率が年々下がっている点は、選定委員会でも質問が出た。

宿泊料金の見直しや、島民向けのプランも考えている。

オンラインでの対応やインバウンド対応などについても検討中だ。

問 建物は経年劣化で傷んでくる。修繕や改修工事は町がするのか。

答 小さなものは指定管理者が行い、大きな改修工事はそのつど協議することになっているが、その金額の協定はない。ある程度は管理者の自主財源を考えている。



古民家ステイの「鮑集」と「日月庵」

野崎島自然学塾村関連

問 この5年間で何か問題はなかったか。

答 安全配慮等の不備はなかった。

問 第三者の評価はしているか。

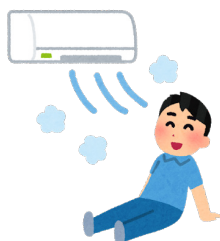
答 選定委員会で審査している。

問 評価報告書は公表しないのか。評価が大切だ。改善点などは継続すると見えにくくなってしまう。

答 公表はしていないが提示できる。毎年実績報告は上げており、県の審査も受けている。



一部の部屋にエアコン設置も



「親家」 島民向けプランをぜひ

条例の制定

ふるさと納税者の思いを実現します

ぎばれ！小値賀ふるさと応援基金条例

小値賀町を応援するために寄せられた寄附金（ふるさと納税と一般寄附）を寄附した人の思いを具現化する重要施策の財源に充て、町の地域づくりなどを進めることを目的とした基金を設置するものです。

主なやりとり

問 使途先の指定がない場合は誰がいつ決めるのか。
答 執行部が精査して適宜決める。

問 第三者委員会は作らないのか。
答 第三者委員会は作らず、執行部が精査して決める。

問 どう使ったかの報告は。
答 町のホームページなどを使って適宜公表する。

この議案には今田光弘議員が賛成討論をしています。

～選べる使い道～

- ①未来をつくる地域づくり事業の推進
- ②新たな人の流れをつくる観光事業の推進
- ③地場産業の振興および創出
- ④感性を高める国際交流・文化活動の推進
- ⑤未来の小値賀に松を残すプロジェクト
- ⑥野崎島保全プロジェクト
- ⑦その他小値賀町の地域振興のため



小値賀町
ふるさとチョイス

犯罪による被害者を支援します

小値賀町犯罪被害者等支援条例

犯罪によって町民が受けた被害の、早期回復と軽減、生活の再建を図ります。
また、誰もが犯罪の被害者になる可能性があるという認識を町民が共有します。
社会全体でともに支え合い、誰もが安心して暮らせる小値賀町の実現をめざして定める条例です。

主なやりとり

問 町民だけが対象か。町外の学校に通う学生は対象外か。
答 町内に住所がある人だけが対象だ。町外に住所を置いている人は、対象外となる。

問 犯罪とは交通事故も含むのか。
答 交通事故も犯罪の一つだ。

問 見舞金の支給の対象者や基準は。
答 別途定めるが、死亡の場合は遺族に30万円、重傷の場合は10万円を考えている。



条例の改正

町議会の定例会議は年4回に

小値賀町議会通年の会期制条例の一部を改正（議員発議）



趣旨説明する近藤隆二郎
議会運営委員会委員長

この議案には今田光弘議員
が賛成討論をしています。

小値賀町議会は議会基本条例を定め、通年会期制を採用しています。現条例では、定期的に会議を開く日として3月、7月及び11月のそれぞれ日にちを定めていますが、他の市町と会議の時期が異なるため、いろいろな不都合が多くなってきました。そこで今回、3月、6月、9月及び12月のそれぞれの日に改正するもので、一般質問も年に4回可能となりました。

（改正後）

定例3月会議・・・3月7日～13日（新年度予算審査が中心です）

定例6月会議・・・6月18日～20日

定例9月会議・・・9月10日～17日（過年度決算審査が中心です）

定例12月会議・・・12月5日～7日

（通年会期制のため、定例会議以外の会議はいつでも開催可能）

トピックス

工事に伴い「フェリー太古」乗降は車両甲板から



人と車の動線が重なってしまうのが気になります

小値賀港のボーディングブリッジ（バリアフリー化）工事に伴い、電話回線の移設が完了次第、野母商船の「フェリー太古」の乗降口は船の後方にある車両甲板からとなります。

窓口や待合所はユニットハウスになります。

また、5月14日から九州商船の「フェリーいの

り」のドック期間中は「フェリーなみじ」の代替運航となり、同じく車両甲板からの乗降となります。見込みです。まだまだ工事は続きます。安全第一です。

突撃取材シリーズ 4 回目

～ていねいな暮らしの体験を提供します～

「YA NO YA」

起業や事業拡大などで雇用を増やす取り組みをする意欲がある人に、国・県・町が補助金を出す事業も 4 年目を迎えました。

今回は柳地区にある「暮らしを育む家・弥三（やさ）」を改修してオープンされた「YA NO YA」のおふたり（長谷川沙織・雄生夫妻）を取り上げます。

2017年に移住したふたりが、友人のブレットさんらの手を借りながら昨年4月に「暮らしを育む家・弥三」をオープンさせました。

築百年を超える古民家で、初代オーナー貞方弥三郎さんの名前にちなんで屋号を付けたそうです。

暮らしの体験を提供

1日3組限定の宿で、ふたりと一緒に生活するスタイルです。

「弥三は私達の暮らしを体験する民泊です。サービスやプライベートを重視される方は宿泊をご遠慮ください。」

とウェブにあるように、一緒に調理し、食べ、飲むといった暮らしの体験を提供しています。

七輪に炭火を起してお湯を沸かし、ごはんを炊き、お風呂も昔ながらの薪風呂です。

この暮らしをお客様に「おすそわけ」し、百年



後の未来に残していくことが、ふたりの目標だそうです。

目標にはまだ届かず

オープンからもうすぐ1年、予想を上回るお客様にお越しいただいているようですが、目標とする売上にはまだまだ届いていないようです。

一方、日々暮らしていく中で、やってみたいコト、挑戦してみたいコトがふつふつと沸いてきており、オプションで釣り

体験やレンタサイクル、まち歩きツアーなどを提供していきたいとのことでした。

古道具などの販売も考えているそうです。

雇用は順調に

雇用の状況は

2018年度（初年度）

空き家改修

2019年度（2年目）

営業開始。雇用1人

2020年度（3年目）

8月より雇用1人追加予定。雇用計2人

今年8月からの雇用者

は、実際に弥三に泊まっ

てくれたお客様で、小値

賀が気に入って、なのだ

そうです。移住者の入り

口にもなっているよう

ですね。



その出会いとつながりの中から、次々と新しいコトが生み出されていきそうです。

町長！

一般質問

一般質問では、町のいろいろなことについて、町長等に説明を求めたり、所信を尋ねたりします。

近藤議員

「ひとり親家族の移住支援について」

ひとり親家族 積極受け入れを

工夫しながら移住者を増やします

西村町長

近藤隆二郎議員

3人に1人が離婚する時代で、ひとり親家族が増えている。

ひとり親家族を

閩本町でも移住者ターゲットを明確にしてはどうか。

●西村久之町長

今のところ考えていません。

町では「家族で移住」の場合、引越費用の一部を補助しており、ひとり親家族もこれに該当します。

県、佐世保市、五島列島と連携しながら年5回程度実施している移住相談会の中で、工夫しているかと思っています。

閩『ひとり親地方移住支援ネットワーク会議』に

所属してはどうか。九州地域はまだ加入していないのでチャンスだ。

●この取り組みについては、研究します。

雇用と移住をつなぐ

閩どういう仕事があるのか移住のページではつまみにくい。例えば町職員になつて島に移住するとうような、雇用と移住のつながりを見やすくしてはどうか。

●移住相談者が本町に来て現状を見ていただく中で、こちらが把握している事業については、可能な限り紹介しています。

今後、見える仕掛けづくりを工夫していきたい

と思います。

事業継承を進める

閩事業が成り立たなくなったお店を引き継ぐやり方もあり、これは移住のハードルを具体的に下げられると思うが。

●事業継承については現在、県の機関と連携して進めています。

今後、事業者の方々へのヒアリングを次年度以降も注力しながら、事業承継、移住者へのサポート、雇用面での支援をしていきたいと思っています。



この質問に対する模擬公聴会での「傍聴席からひと言」はありませんでした。

～質問を終えて～

ここのパーツが弱いな、というところを町として見せていくことで、「突然の新たなパーツ」ではなく、「非常に重要なパーツを支える人にも小値賀町に来てほしい」というメッセージが明確になるのではないのでしょうか。

地域で支え合いの仕組みを

緊急の課題としてとらえています

西村町長



近藤隆二郎議員

近藤隆二郎議員

本町でも超高齢化社会を迎えるにあたり、新しい支え合いの仕組みが必要になっている。

遠隔診療は

●本町には訪問看護、介護サービスを提供する事業者がない。診療所、健康管理センター、介護事業者、自治会などの連携をどうとるのか。
遠隔診療は可能になるのか。

●西村久之町長

行政だけでなく、NPOやボランティア、地域住民どうしの支え合いが必要で、集落を維持していくための取り組みは緊急の課題としてとらえています。

遠隔診療については、地域医療ネットワーク協議会が構築されており、病院間同士、病院と患者の自宅を結ぶ訪問診療にも対応できますので、新診療所ではこのシステムの活用を考えています。

人材バンクが必要

●地域の支え合いには、誰もが誰かを支える仕組みが必要で、地域の人がちょっとしたボランティア支援をするような人材バンクが必要では。

福祉だけでなく観光や買い物でも必要だと思うが、そのような構想はないか。

●無償ボランティアで頑張っている人もいるが、人材が集まらないのが現状で、地域住民主体の多面的な取り組みを展開する仕組みづくりが必要だと考えています。

具体的なスケジュールやアイデアはあるか。

●現在、社会福祉協議会が福祉関係のボランティア

アを取り扱っているが、そこが全体的なことがやれるのかどうかというのも含めて検討し、できるだけ早く体制づくりをしたいと思っています。



この質問に対する模擬公聴会での「傍聴席から一言」はありませんでした。

～質問を終えて～

小中高一貫教育の中でもコミュニティスクールができて、地域で学校を考えていく中でこの人材バンクがあれば、とてもいい仕組みになっていくと思います。

ただ、役場の組織的には課を横断することになるので、どの課にもあって、さらにそれを総合する部署があるという形の方がいいのではないのでしょうか。

「本町の地方創生（人口減少対策）について」

松屋議員

特定地域づくり事業支援法の活用を

活用を前向きに考えています

西村町長



松屋治郎議員

松屋治郎議員

小値賀町は少子高齢化が進み、人口減少に歯止めがかからない。

優秀な人材や若者の流出で、本町の基幹産業を始め、役場、漁協、担い手公社、診療所、保育所、老人施設等、あらゆるところで人手不足、人材不足が深刻化している。

この状況をいかに改善し好転させるかが本町の地方創生（人口減少対策）の大きなポイントだ。

賃金アップを

賃金を始めとする雇用環境の改善策は。

西村久之町長

町の嘱託職員は、同一労働同一賃金ということで、役場においては不利が無いように環境改善を行っています。

民間ではやや大変かもしれませんが、雇用機会拡充事業などによる活性化を図るなど、新規就業者の賃金アップも期待しています。

子育て環境もさらに

安心して住める、医療、子育て環境等の住民福祉のさらなる充実を。

子育て支援を充実し、放課後児童クラブや子育て広場を開設して充実に努めています。

人材確保対策を

町で働く人の人材育成及び人材確保対策を。

小中高一貫教育において島の魅力を伝えることを進め、定着あるいはUターンを期待しています。

また、JICAなど外国人の研修の受け入れも検討しています。

若者が安心して働き、

経済的理由から結婚や出産をあきらめることなく、小値賀に魅力を感じ、住み続けることができる町づくりを進めてもらいたい。

島に帰ってきてもらいたい、特に高校生は町内に良い働き口がないと言っています。

大企業の誘致は本町では不可能で、むしろ本町の基幹産業である第一次産業の継続を重視し、ポイントを絞った募集の方法も考えていきたいと思っています。

高校生が島の魅力を発信していくことも重要だと思っています。

新法の活用を

■ 本年6月より「特定地域づくり事業支援法」※が始まる予定なので、ぜひ活用して欲しい。

本町出身の北村誠吾代議士が担当大臣に就任し、最も大切なのは人であり、地方に残れる環境を整備してほしいと話している。

◎ 北村大臣からは、人材が大事だ、起業したい人をぜひ応援して欲しいとアドバイスしていただいています。

また、特定地域づくり事業支援法については、



産業の枠を超えた取り組みが必要です

※ 特定地域づくり事業支援法

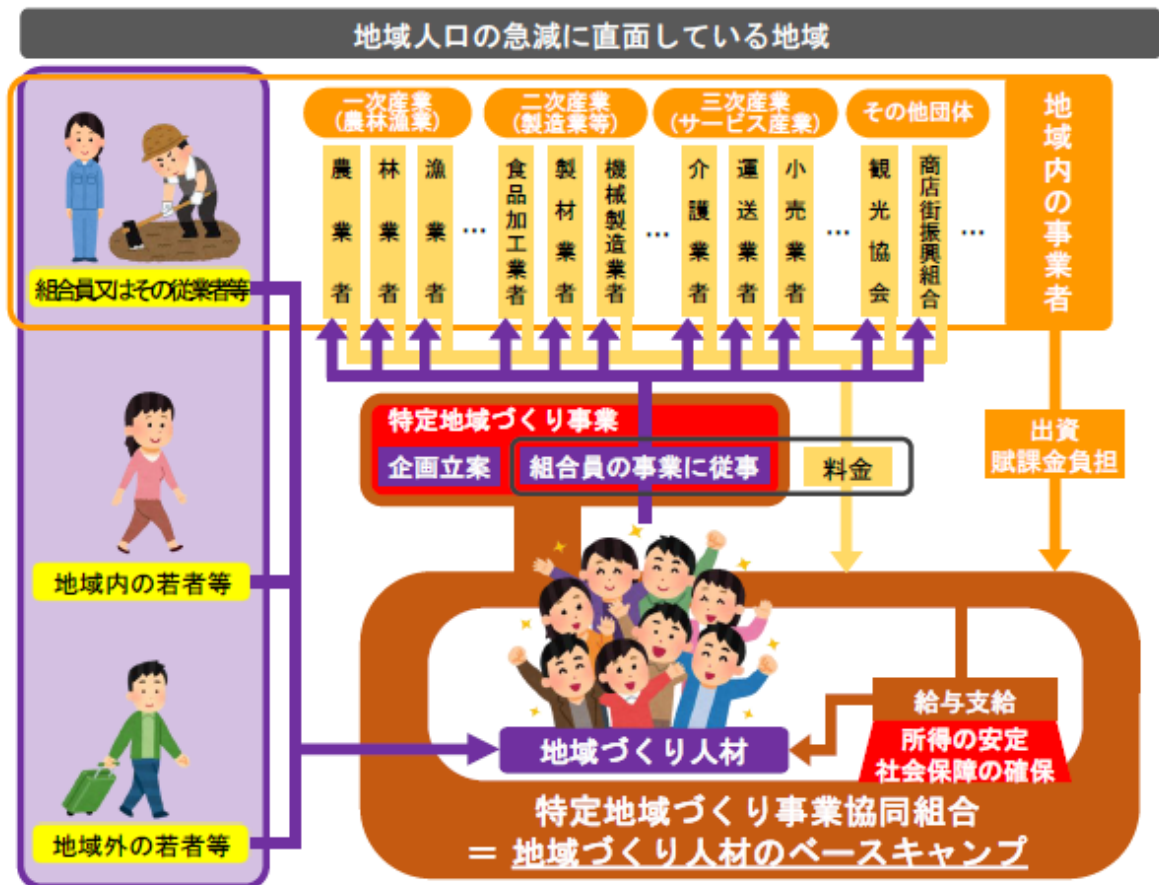
地域人口の急減に対処する法律です。

「特定地域づくり事業協同組合」を各地に設立し、組合に登録した若者を農林漁業や製造業、サービス業など地域産業の働き手として派遣する仕組みです。

国や自治体が組合に財政支援し、過疎地への若者の就業を後押しするものです。

漁協、農協、担い手公社など相手と相談しながら、前向きに活用していきたいと考えています。

特定地域づくり事業支援法のイメージ図



この質問に対する模擬公聴会での「傍聴席から一言」はありませんでした。

～質問を終えて～

町制 80 周年を迎え、本町の将来（未来）について考えてみたが、若者が増えないことには子どもも増えない。そうすると本町の支え手がいなくなり、本町の未来は無いと思いました。

そのようなことから、まずは若者が安心して働き、家族を養うことができる収入を得られることが、未来永劫に小値賀に人が住み続けられる前提であると思いましたので、今回の質問となりました。

ぜひ今日の答弁を実現していただきたいと思います。

「宇久小値賀家畜市場の統合について」

宮崎議員

円滑な牛市場統合に尽力を

協議して必要な支援を検討します

西村町長



宮崎良保議員

宮崎良保議員

子牛のセリは本年8月以降は、平戸口中央市場へ統合の予定だ。

当町の畜産農家は宇久町への搬入経験があり、また、多頭飼育農家にとつては、価格面と毎月の市の開催によって畜産経営にも良いことだと概ね賛同している。

一方でリスクも高くなり、本当に畜産経営に良い方向へ向かうのかなといった危惧がある。

町長は選挙公約で円滑な市場統合へ努力すると公言しているが、どんな考えで公約の実現を目指すのか伺う。

リスク軽減策は

円輸送コストの増に対するリスクの軽減策は。

●西村久之町長

統合後のことは農協、和牛部会等とも協議し、必要な支援を検討していきます。

統合後の輸送料増加



小値賀の農業のけん引役です

は、平戸口の市場全体で負担することになっています。また、農家負担だけで全額をまかなえない

ため、統合後においても不足分は農協が負担する措置がとられると伺っています。

問 子牛の輸送時の事故等が発生した場合の対応策は。

答 生産者が積み立てている互助金で対応予定と伺っています。

問 子牛の移動中のストレスによる体重及び毛並みの劣化による価格低下への対応策は。

答 農協の市場担当に確認したところ、体重の減少や毛並みの劣化などは価格に影響しない、とのことでした。

経費の軽減策は

問 人の宿泊費などの交通費の軽減策は。

答 統合後の補助については、農協、部会の意見などを聞いて対応を考えたと思います。

また農協では、生産者の移動負担をなくすために小値賀支店にモニターを設置し、行かなくてもセリを見ることができるような対策を検討していると伺っています。

素牛の増頭対策を

問 コスト高を軽減するには素牛の増頭が必要と考えるが対応策は。

答 令和2年度においても、繁殖雌牛導入推進事業補助金など、増頭にかかる支援を継続していきたいと思っています。

今後、農協が宇久、小値賀地区で再び説明することなどで、町も状況確認を行い、情報を共有し、支援策についても協議していきます。



移動によるストレスは大きいと言われていますが

問 輸送コスト改善事業補助金は農産物にはあるが、畜産にはないのか、そういった協議は考えていないのか。

答 牛に対しても国境離島の海上輸送コスト改善事業補助金はあります。

一方で、既に使っている国の集出荷奨励金の制度があるが、重複して活用できないと思うので、陸路も含めたプール運賃との調整が必要になってくると思います。

問 12月に町長はキャトルステーションを小値賀に作るか、田平に作るか、部会と検討すると言っていたがその後の進展は。

答 2、3回農協に伺ったが組合長に会えなくて具体的な協議には入っていません。

小値賀に作れば雇用を生む場になるので、市場の統合の話も含めて協議を進めていきたいと考えています。



この質問に対する模擬公聴会での「傍聴席からひと言」はありませんでした。

～質問を終えて～

建設が終わっている第2キャトルステーションには、小値賀の牛は4～8月まで月10頭ずつ、9～3月までは月11頭ずつの計127頭しか入れません。

これを利用できる人は牛舎が空くので、素牛を入れ、そのコスト分は十分に確保できると思いますが、利用できない人は経費ばかりかかってモチベーションが下がり、牛をやめると言いかねません。

牛が無くなったら小値賀の農業は終わりだと思うので、畜産農家のモチベーションを下げない工夫を議会もそうだが、町長も考えてほしいと思います。

教育長！

「北松西高校の修学旅行費用に 対する町の助成について」

今田議員

どうして町が助成するの？

高校の魅力化をもっと高めるためです

吉元教育長



今田光弘議員

なぜ海外に

今田光弘議員

国内でも充実した修学旅行ができるのにもかかわらず、令和2年度の北松西高校の修学旅行の行き先が海外となった。その理由は。

答 吉元勝信教育長

体験を通じて生きた英語の経験、世界の多様性に対する理解、視野を広げ、平和の尊さを感じる機会となり、小値賀を外

から見ることで、自身のキャリア形成に大きく影響を与える経験となり、「ふるさと教育」の充実につながるのと考えからです。

問 年度途中でどうして海外に替わったのか。

答 長崎県では、平成28年度からの3年間、離島部の県立高校の魅力化に向けた検討を行いました。

北松西高校において

も、地域の活性化と教育水準の維持向上を図ることを目的に、離島地区小規模校の魅力化「アイランド・チャレンジ」事業に取り組みました。

その事業の最終年度に、「ふるさと納税」を活用し、高校の魅力化につながる事業が何か、できないものか、という提案が町長部局からありました。

これを受けて高校サイドで企画をまとめ、昨年5月に西村町長へ内容説明と支援要請が行われ、方向性の同意がありました。

県の基準は

問 長崎県立高校の修学旅行の基準は。

答 行き先は海外の場合、中国か韓国が原則となっています。

一人当たりの費用の上限は、国内か韓国の場合、8万3000円、中国



の場合は12万2000円で、安全面や保護者の経済的負担が過重とならないようになっていきます。

なぜ町が補助を

町が助成するのになぜ町が助成するのか。

●北松西高校は義務教育でも町立高校でもありませんが、小中高一貫教育の重要なパートナーです。

海外修学旅行が学校全

体の活性化につながり、小中高一貫教育の英語教育の集大成とともに、子ども達の大きな目標にもつながるからです。

町はいくら助成を

町は実際に生徒一人いくらかかるのか。そのうち町はいくら助成する予定か。

●生徒一人の概算旅行費は21万2000円で、保護者負担8万3000円を差し引いた12万9000円を助成する予定です。

高校の魅力化とは

町が考える

「北松西高校の魅力化」と

は何か。何を目指そうとしているのか。

●アイラン

ド・チャレンジ事業では、

日本や世界で



活躍できる生徒、地域の発展に貢献できる生徒の育成をめざしています。さらに高校の魅力をもっと高め、町外からも北松西高校をめざすことにもつながようと考えています。

そのためには、県が主体となることを基本としながらも、当町だからこそできる北松西高校の支援が重要となります。

海外研修と合わせて、これまで以上に地域のことをしっかりと勉強する機会を確保し、卒業後も小値賀のことを自分事として感じる生徒に育ってもらおうよう高校にもお願いしたいと考えます。



～私にも言わせて～

傍聴席からひと言
(模擬公聴会)

～質問を終えて～

子どものためにいろいろ町はがんばっています。

けれど、町立でもない、義務教育でもない高校の修学旅行費用を生徒一人当たり12万9000円も町が負担することに違和感を感じます。

高校の魅力化の中で、英語教育は手段の一つであって、目的ではないはずです。

子どものためなら何でもあり、では、かえって子どものためにならないような気がします。

地元に残ることだけにこだわらず、地元意識を強く持ち、島外でも小値賀のために活躍できれば町に還元できることもある。

一人ひとりの「小値賀のためにしたいこと」を認めてあげることがいいのでは。

日本も広いし多文化なので、国内の違う土地に行って、自分たちが知っている同じレベルのことを勉強する方がいいと思う。

今日のようなやり取りを全部生徒に話してから判断しても良かったのでは。

学校の教育は地元の魅力を知り、地元に貢献することにシフトしてきている。

町民誰でも英語が話せる未来に向けて、生きた英語を高校で体験させることに賛成だ。



胸を張って再質問ができました

(表紙の写真)
「値中3年生模擬議会」

12月に、模擬議会に向けて、生徒と議員の意見交換会がありました。
町長の回答に対して再質問ができるレベルをめざし、みんな真剣に取り組んでいました。
いったんはインフルエンザによる学級閉鎖で模擬議会は中止になりましたが、日にちを変えて実現。
緊張の中にも手応えと自信をつかんだのではないのでしょうか。

おらせ

議会運営委員会から今後のお知らせ

こんなことを予定しています。

イベントについては、新型コロナウイルスの状況などにより、変更の可能性もあります。

◎「オトナ議会」(仮称)の開催

公募した町民に議員を経験してもらい、議会への関心を高めていただきます。開催時期は6月議会あたり。

◎第2回議会主催シンポジウム「オヂカのミライは？(仮)」

昨年10月に実施したシンポジウムの第2弾です。開催時期は8月お盆あたり。

◎議会webサイトについて

より見やすいデザインへの修正を提案しています。

◎動画配信サービスについて

議会の様子を動画配信できるように検討しています。



小値賀町議会
Facebook

「ギカイの窓」連絡先

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局
メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp

編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111



編集後記

梅は春の訪れをいち早く教えてくれる気品のあ
る美しい花木で、もとも
と薬用の実として中国か
ら伝来してきた。

時はめぐり、令和の世
に彼の国から渡来したも
のは新型コロナウイルス
という得体の知れない感染症。

これほど政治・経済・教育・
スポーツ・医療等々あらゆる面
で社会不安をあおったモノを私
は知らない。

G20が「利用できるすべての
政策手段を使う」という声明を
発表し、世界的規模で感染症の
拡大を防ぐ対策が講じられてい
るが、拡大がいつ沈静化するか
不透明である。

一刻も早く町民の不安を取り
除くため、町、議会共々小値賀
町独自の対策を考えることも
必要ではなからうか。

梅の花の盛りは過ぎた。
新型コロナウイルスによる感
染症も、各人ができる範囲で予
防しながら、一日も早く過ぎ去
ることを祈るのみである。

編集委員 黒崎政美